

平成25年度 学校目標

【小学校】

No.	学校名	学 校 目 標
1	八 戸	「考えを伝え合う力の育成を図る」
2	城 下	「基礎的基本的な学力の定着」（国語・社会・算数・理科）…児童が「わかったできた」と評価する授業割合を80%以上にする…
3	吹 上	「基礎学力の確実な定着を図る」「基本的生活習慣の育成を図る」
4	長 者	「自他の良さに気づき高め合う子の育成」
5	函 南	「学力を高めるための板書とノート指導の充実」
6	中 居 林	「基礎的・基本的な学習内容を確実に定着させ、それらを土台にした思考力・判断力・表現力を身につけた児童の育成を図る。（各診断テスト等で、平均点75・偏差値55・全国比110以上を目指す）」
7	柏 崎	「基礎学力の確実な定着を図る」
8	小 中 野	「基礎・基本の確実な定着及び基本的生活習慣の育成を図る」
9	江 陽	「国語・算数の基礎基本の確実な定着を図る」
10	湊	「基礎学力の確実な定着～楽しく、わかる授業作りを通して～」
11	青 潮	「書く力の育成を図る～まねて書く・くわしく書く・まとめて書く～」
12	白 銀	「国語の学力向上を図る」
13	白 鷗	「共に学び、生活する子の育成」
14	白 銀 南	「基礎学力の定着」
15	町 畑	「国語・算数の基礎・基本の確実な定着を図る」
16	美 保 野	「学び方を身に付け、自分から取り組む子どもの育成」
17	鯨	「体力向上『走る・跳ぶ・投げる』で全国平均を上回る」 (合わせて、この取り組みによって肥満傾向児童を10%以下にする。)
18	種 差	「学び方を身につけ、自ら学習する子どもの育成」
19	大 久 喜	「課題を把握させ、解決する活動を通して、意欲を高め、基礎学力の確かな定着を図る」
20	金 浜	「児童の読み取る力を伸ばす」
21	根 城	「基礎的・基本的な学力の定着」
22	白 山 台	「『ともに高め合うこと』を意識して行動する態度の育成を図る」
23	江 南	「関心・意欲、思考力、判断力、表現力等、機能的学力の向上」
24	田 面 木	「学習規律の確立」
25	下 長	「確かな学力の育成を図る」
26	城 北	「家庭学習の充実」
27	高 館	学びの基礎をはぐくむために「基礎・基本の確実な定着を図る」「学習習慣の確立を図る」
28	根 岸	「基礎学力の向上」
29	日計ヶ丘	「基礎基本の確実な定着」
30	是 川	「基礎・基本の確実な定着を図る－文章題を図で整理する力を育てる－」
31	是 川 東	「基礎学力の定着を図る」
32	三 条	「読み取る力を高める～言語活動の工夫～」
33	西 園	「説明文の授業の中で、小集団で考えを交流し、相手に伝わるように発表したり書いたりする子どもを育成する」
34	明 治	「算数の学力向上を図る」
35	桔 梗 野	「基礎的・基本的内容の確かな定着」

36	轟 木	「表現力や応用力のさらなる向上を目指し、主体的に課題を解決していく力の育成に取り組む。(各診断テスト等で偏差値57、全国比110以上を目指す)」
37	多 賀	「基礎・基本の確実な定着を図る」
38	多 賀 台	「基礎・基本の確実な定着(国語)を図る」
39	豊 崎	「ふるさと『豊崎』を誇りに思う子」
40	新 井 田	「進んで高めようとする子の育成」
41	松 館	「多様な体験を通して豊かな心を育み、進んで自分らしく表現する子に育てる」「児童一人一人の基礎学力を高め、進んで自分らしく学習する子に育てる」
42	旭ヶ丘	「筋道を立てて考え、場に応じた表現ができる児童の育成」
43	市 野 沢	「明るいあいさつ・確かな返事」
44	中 野	「豊かに読む力の育成を図る」
45	鳩 田	「表現力の育成」～おりあいをつけながら、自分の考えをまっすぐに伝える力の育成に努める～
46	島 守	「基本・基本の定着を図る」
47	田 代	「的確な理解のもと、自分の考えを適切に表現できる児童生徒の育成」

【中学校】

1	第 一	「時と場に応じたあいさつと返事ができる生徒の育成」
2	第 二	「主体的に学習に取り組む生徒の育成」「自分のよさを集団の中で積極的に生かす生徒の育成」
3	第 三	「基礎学力の確実な定着～ユニバーサルデザインの視点を生かして～」
4	長 者	「聴き合い、学び合う中で、意欲的に学ぶ生徒の育成」
5	小 中 野	「夢に向かって志をもち、自分を鍛える生徒の育成」
6	江 陽	「自分の思いや考えを表現できる生徒の育成」
7	湊	「自らの進路を見つけ、それに向かって努力する生徒の育成」
8	白 銀	「確実に基礎学力を定着させ、自学自習できる生徒を育成する」
9	白 銀 南	「良好な人間関係を築き、集団の中で自分の良さを発揮するしなやかな生徒の育成」「苦しさ立ち向かい、自ら道を切り拓くたくましい生徒の育成」
10	鮫	「自己を磨き、他を認め、自主的に活動する中学生を育てる」
11	南 浜	「目標を持ち、自らを高める生徒の育成」
12	根 城	「自分の考えを積極的に表現できる生徒の育成」
13	白 山 台	「自分の思いや意見を発言できる生徒の育成」
14	下 長	「基礎的・基本的な知識・技能を身に付けた生徒の育成」
15	北 稜	「課題対応能力の向上」
16	是 川	「授業の充実を図り、学力の向上をめざす」
17	三 条	「学びの中で、自分の意見を伝えることのできる生徒の育成」
18	明 治	「将来の展望を持ち、何事にも意欲を持って取り組む生徒の育成」～キャリア教育の視点に立った取り組みを通して～
19	市 川	「文武両輪の取組により、自分の考えを相手に正確に伝えられる生徒の育成」
20	豊 崎	「人とかわかり、堂々と自分を表現できる生徒」
21	大 館	「主体的、意欲的に学習に取り組む生徒の育成」「心身ともに、力のある生徒の育成」
22	東	「自ら学ぼうとする意識と実践力の育成を図る」「自らより善い集団づくりに努めようとする意識と実践力の育成を図る」
23	中 沢	「生徒が意欲的に学習に取り組む姿を目指した授業の改善」
24	島 守	「自分の思いや考えを豊かに表現できる生徒」
25	田 代	「的確な理解のもと、自分の考えを適切に表現できる児童生徒の育成」

平成25年度 学校評価の実施結果（概要）

今年度も市内各小中学校では、学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図ること、及び、評価結果等を広く保護者等に公表して、学校・家庭・地域社会の連携協力による学校づくりを進めるというねらいで、学校評価を実施しました。

八戸市教育委員会では、学校運営の改善と発展を目指し、学校評価を実効性あるものとする観点から、学校目標に即して精選した重点施策を設定し、学校評価を実施・報告していただきました。

ここでは、市内全小・中学校から報告された学校評価結果について概要を報告します。

1 各校の学校目標について

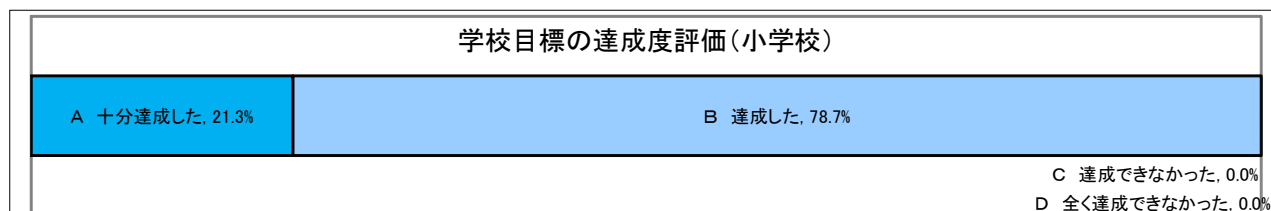
- ・各学校では、前年度の学校評価結果、児童生徒の実態等を考慮し、今年度短期的に特に重点をおいて達成を目指したいと考える学校目標を設定して取り組んできました。
- ・今年度も、昨年度と同様に、確かな学力・基礎学力の向上を学校目標に設定して取り組む学校が多くありました。

2 達成状況について

（1）学校目標の達成状況

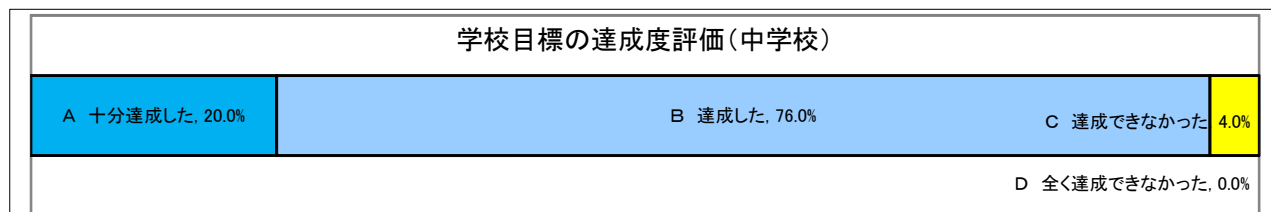
- ・市内小学校の学校目標の達成状況は、

A－10校（21.3％） B－37校（78.7％） C－0校（0％） D－0校（0％）
でした。



- ・市内中学校の学校目標の達成状況は、

A－5校（20％） B－19校（76.0％） C－1校（4.0％） D－0校（0％）
でした。



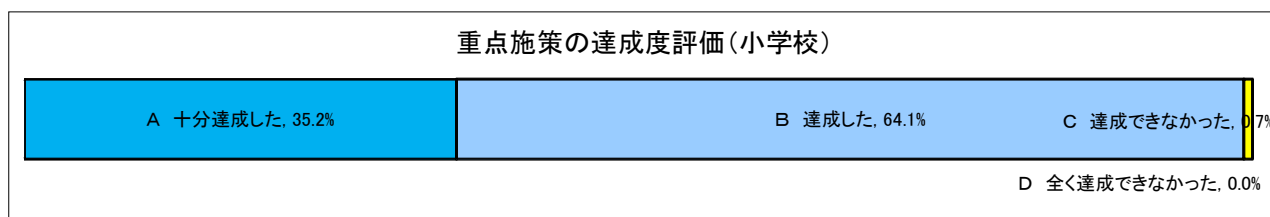
- ・小学校は、A、B合わせると100％となり、全ての学校が今年度の学校目標をおおむね達成されたと評価しています。中学校は、A、B合わせて96％となり、おおむね達

成されたと評価している学校が多くなっています。

(2) 重点施策の達成度状況

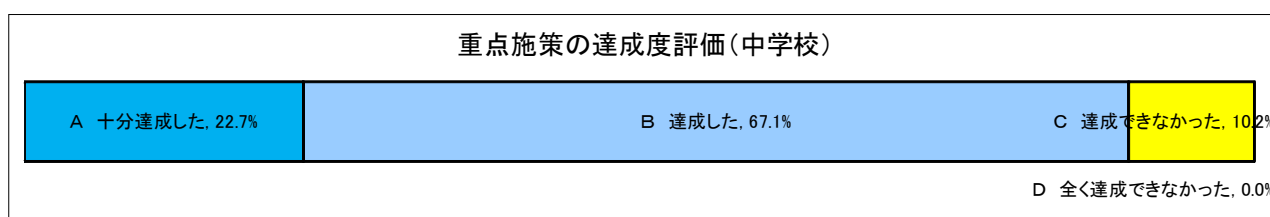
- ・学校目標の達成に向けて、各学校では、2～8項目の重点施策を設定し取組を進め、その達成状況を評価しました。
- ・市内小学校の重点項目評価の集計結果は、

**A－51項目（35.2％） B－93項目（64.1％） C－1項目（0.7％）
D－0項目（0％）**でした。



- ・市内中学校の重点項目評価の集計結果は、

**A－20項目（22.7％） B－59項目（67.1％） C－9項目（10.2％）
D－0項目（0％）**でした。



- ・小学校、中学校とも、「A十分達成」「B達成」とされた項目が多くありましたが、「C達成できなかった」と評価された項目もあったため、今後の改善方策を検討し、具体的な取組の改善を図っていくことが必要です。

3 今後の取り組み

学校評価の結果を真摯に受け止め、児童生徒がより良い学校生活を送れるよう、学校運営の改善と学校・家庭・地域社会の連携、協力による学校づくりを推進し、教育水準の保証・向上を図っていくことが必要です。